

令和 7 年度 防災対策事業報告

災害等対応の報告

○ 令和 7 年 9 月 20、21 日の大雨対応

前線を伴った低気圧が北海道付近を通過し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。帯広市の総雨量は 98 mm。帯広市では「大雨警報（浸水害）」及び「洪水警報」が発表されたほか、十勝地方では、線状降水帯の発生を知らせる「顕著な大雨に関する気象情報」の運用を開始した令和 3 年 6 月 17 日以来、初めて線状降水帯が発生した。

○ 令和 7 年 12 月 8 日の地震対応

23 時 15 分発生。青森県の八戸市で震度 6 強の揺れを観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度 6 弱～1 の揺れを観測。岩手県沿岸では、約 70cm の津波も観測。

帯広市は震度 4。気象庁は、新たな大規模地震の発生の可能性が普段より高まったとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を、令和 4 年 12 月の制度運用開始後初めて発表した。

防災事業の主な報告

1 災害に強い都市基盤整備

(1) 耐震改修促進計画

○ 特定建築物の耐震化率（令和 7 年度末）

88.1%（内訳：総数 672 棟 耐震 592 棟 非耐震 80 棟）

○ 木造住宅への耐震化支援

無料耐震簡易診断、耐震診断補助金、耐震改修補助金、旧耐震住宅建替え補助金、旧耐震住宅除去補助金

(2) 災害対応に配慮した道路整備・修繕

○ 幹線道路等の整備・修繕

都市計画道路の整備、橋梁・道路ストックの修繕

(3) 上下水道の災害対策

○ 上下水道インフラの整備

水道管の耐震化、下水道マンホールの浮上対策、雨水管整備、水道管及び下水道管の更新及び長寿命化

2 防災意識の普及啓発

(1) 防災セミナー in とちかち 2025（令和 7 年 7 月 29 日（火））

場 所：とちかちプラザ 2階 レインボーホール

主 催：帯広市町内会連合会、帯広市

参 加：87人

内 容：紀伊半島大水害から立ち上がった津本地区自主防災会の取組

講 師：三重県紀宝町 津本地区自主防災会 大峪 やす子 氏

(2) 地域防災訓練 (令和7年8月31日(日))

場 所：大空学園義務教育学校

主 催：帯広市

参加者数：206人(一般参加者102人、訓練関係機関104人)

参加機関：北海道開発局帯広開発建設部、陸上自衛隊第5旅団第4普通科連隊、帯広測候所、帯広警察署、とちろ広域消防局、帯広市消防団、NHK 帯広放送局、とちろ防災マスターネットワーク、帯広地方隊友会、(株)エアステージ

訓練科目：避難から避難所内の居住スペースづくり、避難所生活に関する意見交換、ドローンによる撮影、関係機関による防災資機材等の展示

(3) 防災研修会 (令和7年12月18日(木))

場 所：とちろプラザ 2階 視聴覚室

主 催：帯広市町内会連合会、帯広市

参加者数：53人

内 容：災害に役立つ！防災風呂敷研修会

講師：日本風呂敷文化協会 代表理事 横山 芳江 氏

(4) 防災グッズ展 (令和8年1月13日(火)～16日(金))

場 所：帯広市役所庁舎1階市民ホール

見 学：407人

展示内容：非常持出品、非常食料、冬の防災用品、家屋転倒防止器具、感染症対策、市備蓄品の展示 ほか

(5) 冬季防災訓練 (令和8年2月14日(土)、15日(日))

場 所：栄小学校

主 催：帯広市

参加者数：217人(一般参加者75人、訓練関係機関142人)

協力：十勝建築災害対策協議会、帯広管工事業協同組合、帯広空調衛生工事業協会、(一社)帯広建設業協会、帯広建築工業協同組合、北海道LPガス協会十勝支部、北海道コカ・コーラボトリング(株)帯広事業所、(株)伊藤園帯広支店、サントリービバレッジソリューション(株)帯広支店、(公社)隊友会帯広東支部、(公社)隊友会帯広西支部、(公社)隊友会道東連合会女性部、陸上自衛隊第4普通科連隊、トヨタモビリティ帯広(株)、ネットヨタ帯広(株)、釧路トヨタ自動車(株)帯広店、とちろ防災マスターネットワーク、とちろ広域消防局、帯広市消防団、(株)ズコーシャ、帯広市親子防災講座実行委員会、十勝総合振興局、(一社)AZ-COMネットワーク、北海道大学(SIP「スマート防災ネットワークの構築」の一環として協力)、大塚製薬(株)(一社)、十勝地区トラック協会(順不同)

訓練科目：給水訓練(緊急貯水槽)、応急手当訓練、救助救出訓練、備蓄品取扱い訓練、親子防災教室、防災グッズ等展示、防災講話、避難所居住スペース設営訓練、避難所宿泊体験

3 防災体制の充実

(1) 災害用備蓄資器材等の購入・更新

[定期的な更新・購入]

- 災害備蓄食（アルファ米）の購入（2, 150食）
- 災害備蓄食（サバイバルフーズ）の購入（2, 160食）
- 液体ミルクの購入（240缶 48人×0.5日分）
- 粉ミルク（アレルギー疾患対応）の更新（24缶 48人×2.5日分）
- 紙おむつの購入（542枚 幼児用158枚、高齢者用384枚）
- アルミマットの購入（1, 120枚）
- 緊急避難用寝具の購入（700個）
- 糞尿凝固薬品の購入（5, 300回分）
- 簡易トイレの購入（33個）
- 使い捨てカイロの購入（1, 500枚）

(2) 指定避難所への非常用発電機整備（令和5～7年度）

帯広市の指定避難所51カ所中、農業センターなど農村部の小規模な避難所とすでに非常用発電機が整備されている避難所を除いた40カ所に、令和5～7年度の3か年で非常用発電機を整備する計画で、令和7年度は13カ所に設置した。主に冬季の停電対策として、メインの避難者収容スペースの暖房と補助照明器具用の電力を確保する。

(3) 災害時の広報・通信体制の充実

- 令和7年度に地域防災無線を更新。以下概要。
 - 基地局 2局（帯広市役所、大正配水池敷地内）
 - 固定局 2局（帯広市役所、大正配水池敷地内）
 - 簡易無線局 2局（帯広市役所、大正配水池敷地内）
 - 陸上移動局 124局（統制局2局、半固定局87局、車載局25局、携帯局10局）
- 地域防災無線の維持管理（保守点検実施）
- Jアラート配信訓練（地震想定、全国一斉訓練）
 - 日 程：令和7年6月18日（水）
 - 対 象：市内全小中学校、義務教育学校、南商業高校
 - ※ほか、国民保護事案を想定したものとして令和8年2月6日（金）に実施
- 地域防災無線通信連絡訓練
 - 日 時：令和7年12月9日（火）～ 11日（木）
 - 対 象：地域防災無線を設置する全施設
- 防災協定に基づく避難所施設等のWi-Fi環境整備（全20箇所）
- 緊急情報一斉伝達システムの運用
 - 運用開始：令和2年5月1日
 - 登録者数：電話・ファクス 176件（令和8年5月1日時点）
 - メール 1, 645件（同）※うち、697件は市職員の緊急連絡用
- SNSを活用した情報発信（令和8年5月1日時点）
 - 帯広市公式LINE 登録者数 約38, 700人
 - 帯広市公式Facebook フォロワー数 約6, 700人
 - 帯広市公式X（旧Twitter） フォロワー数 約7, 400人
 - Yahoo!防災アプリ 約48, 700人
 - ※Yahoo! JAPAN アプリで帯広市を地域設定している利用ユーザー数も含む

(4) 自主防災組織の育成等

- 自主防災組織の結成・育成を推進
- 防災活動助成事業
自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して費用を助成

	助成団体数	助成額
連合町内会	5団体	上限15,000円
単位町内会	30団体	
合計	35団体	584,161円

- 防災講師派遣事業
自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して講師を派遣
実施団体：28団体、参加人数：804人
- 職員による防災出前講座の実施
実施団体：84団体、参加人数：2,334人
- 親子防災講座の実施
実施回数：62回、参加人数：4,537人
- イベント等での防災啓発活動の実施
実施回数：5回、参加人数：1,397人

(5) 避難行動要支援者対策

- おびひろ避難支援プランの推進
避難行動要支援者数 3,632人
個別計画作成済者数 216人
個別計画作成率 5.95%
個別計画作成協議会設置数 連合町内会11件、単位町内会13件
(令和8年3月末時点)

(6) 市職員訓練

- 避難所運営訓練の実施 ※令和2年度から延べ540人に実施
 - ①避難所運営訓練（対象：避難所運営担当職員等）
参加者数：38人
会場：ソネビル6階講習会室
日程：令和7年6月12日（木）
内容：避難所運営ゲーム「Doはぐ」、避難所で使用する備蓄品の展示を実施
 - ②避難所運営訓練（対象：保健師）
参加者数：20人
会場：保健福祉センター多目的ホール
日程：令和8年2月19日（木）
内容：避難所運営ゲーム「Doはぐ」

○ 情報連絡室運営訓練の実施

参加者数：総務部危機対策室職員 9 人、各部情報連絡責任者 10 人、情報連絡員 10 人

会 場：危機対策課執務室他

日 程：令和 7 年 7 月 2 日（水）

内 容：市内で震度 7 の地震が発生し、停電が発生、市庁舎では非常用電源が作動し、火事等で市庁舎が使えない想定で、代替庁舎の検討を実施したほか、各部の情報連絡責任者や関係機関と、防災無線や衛星電話などを使用して、災害時の通信手段や体制を確認した。

○ 避難所設営訓練等の実施

参加者数：51 人

会 場：帯広小学校

日 程：令和 7 年 7 月 31 日（木）

内 容：避難所に設置してある防災備蓄倉庫の資機材を適切に使用できるよう、資機材（送風機、照明器具、段ボールベッド、ワンタッチテント）の搬送・組立・設置を実施したほか、小型発電機の操作訓練を実施。併せて、担当している避難所の施設管理者との顔合わせを行い、施設や防災倉庫を確認した。

○ 避難所開設訓練の実施

①地域防災訓練前段

参加者数：31 人

会 場：大空学園義務教育学校屋内運動場他

日 程：令和 7 年 8 月 31 日（日）

内 容：実際に避難所となる施設において、避難所開設時の受付から受け入れまでの流れや、備蓄倉庫で備蓄している資機材に関する講話・訓練を実施

②冬季防災訓練前段

参加者数：14 人

会 場：栄小学校屋内運動場他

日 程：令和 8 年 2 月 14 日（土）

内 容：実際に避難所となる施設において、避難所の受入れ要領や小型発電機の操作、給水方法に関する講話・訓練を実施

(7) 防災協定の締結

締結日	主 体	相 手 方	協 定 名
R7.6.30	市	大塚製菓株式会社 北海道支店	帯広市と大塚製菓株式会社との包括連携協定書 (災害時の食料等の優先供給)
R7.11.25	市	一般社団法人北海道レッカー事業組合	災害時等における車両の移動等の協力に関する協定
R7.12.1	市	国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学	災害に係る協力体制に関する協定
R8.1.27	全国市長会	一般社団法人日本カーシェアリング協会	災害時における連携協力に関する協定

協定締結数	自治体相互応援協定	2
	道が締結し市町村も含まれる協定	3
	全国市長会が締結し市等も含まれる協定	1
	帯広市が締結した協定	83